

活躍できる場所

こんにちは。Museと申します。

もともとはエコクラブという松山大学の学生のボランティアサークルだったものが、約十年前にNPO法人として独立し、地域と大学が連携した活動や社会貢献活動を主に行っています。

現在は八十人の現役学生が所属していて、十個近くの事業を展開し、その多くは長期的な継続事業で発足当時からのもちがあります。その中からいくつか事業紹介をさせていただきます。

坂本ぼんぼこ村にて

松山市久谷の坂本地区で子供たちが農業体験をしたり、文化財を学んだりするのが、私たち大学生がお手伝いをしています。これは松山市教育委員会が主催しているもので、毎月一回活動していて、農業体験では実際に坂本の方々に教えてもらいながら野菜や米の植え付けから収穫をして、子供たちも積極的に作業に取り組み、文化財巡りでは、お遍路にま

つわる場所で歴史などを学びました。子供たち、坂本の方々、そして大学生という三世代が同時に交流する活動には、中間の世代の大学生が関わること、子供たちも地域の人も大学生を通して生まれるコミュニケーションがあります。

砥部に親しみを

砥部町五本松地区にある接待所「村の駅」。砥部に親しみを持ってほしいの思いから、地元の方と協力しイベントが出来るように古民家を整備。例年、砥部焼の掘り出し物市や飲食物の販売をする



ぼんぼこ村農業体験の様子

マルシェを開催しています。ほかにも七夕祭りやどんど焼きもしていて、学生が主体的に活動させていただいています。さらに三年前から村の駅周辺のコンクリートの壁に壁画アートを描きました。十メートルを超える他にはなかなかないような大きい壁画で地元の方にも好評をいただいております、この壁画アートを機に、より一層この村の駅に人が訪れ、多くの素敵な笑顔が生まれればいいな



壁絵アート



村の駅マルシェ

NPO 法人松山大学学生地域創造研究所
Muse 事務局長

菊池 友孝



大学生による地域活性化 ～大学生が地域を守り、変えていく～



ほたる祭り

奥谷ほたる祭り

と思います。また、多くの人に砥部を発信するために、来年度からSNSを活用した企画が進んでいます。SNSといえば若者が利用するイメージが強く、SNSで発信していくことで、私たち若者が若者を呼ぶという展開を期待し、取り組んでいます。

毎年六月に松山市久谷町で行われる奥谷ほたる祭り。地元の方々から若者たちでお祭りを盛り上げてほしいとの依頼を受け、屋台のお手伝いをしたり、自分たちでおでんを作って販売もしています。駐車場がいっぱいになるほど各地から多くの人に来ていただいております。イベントを楽しんだり、屋台で買ったものを食べたたり、もちまきがあったり、とても

遍路マップがアプリに…!

楽しいお祭りです。陽が山に隠れると次第に淡い緑色の蛍光が浮かび上がり、その幻想的な風景は童心を思い出させるかもしれません。どこか懐かしいおでんの味と共に：（笑）。普段はのどかなところですが、地元の方の活気づいた姿を見て、自分たちの活動が直接活性化につながっていると実感しています。

Museでは以前、「お遍路マップ」なる、お遍路さんの旅に役立つ情報を載せた手作りの地図を制作しましたが、ネットリテラシーの啓発活動でお世話になった方々のご協力の下、アプリで見ることができるようになりました。お遍路さんだけでなく、観光にも利用できると思っていたものが、スマホで手軽に見ら

れるようになり、今後の展開にとっても期待しています。お遍路にまつわる場所はたくさんあり、観光に訪れる人が増えて地域の活性化につながるようにしていきたいと思っています。



お遍路マップアプリ

今後の展望

地域活性化において、よく若者の力に需要とされ、活躍できる場所があることはとても幸せなことで、Museが十年間続いているのは、私たちの持つ強みが地域のニーズとうまくマッチ出来ているからではないかと思えます。活動のスケールが大きい小さいにかかわらず、今後はもっと主体的に学生から可能性を見つけていけるような環境を作り、事業の企画、運営をしていくことで学生一人ひとりが活躍できる場所を生み、さらに飛躍できて学生も地域も一緒に活性化していけるようにしたいと思います。